

◆令和5年(2023年)度 短期行動計画◆

運営方針① 熊本の暮らしを支える	取組の方向性	1 全県域を対象としたサービスの提供	(1) 市町村立図書館等との連携 (2) 市町村立図書館等への支援
		2 生活や仕事に役立つサービスの提供	(1) 県民や地域の課題解決への支援 (2) 関係機関等との連携

令和5年(2023年)度の取組

重点取組事項	年度当初の計画		年度末の総括																													
	具体的事業と実践内容	【目標】	取組の実施状況及び成果と課題	次年度への志向等																												
① 全県域への資料の提供	<p>【1】インターネット予約貸出サービスの拡大と利用増進 インターネット予約貸出は、水俣市、阿蘇市、上天草市、山鹿市を除く市町村(熊本市22館、熊本市外37館)と連携しており、連携協力館とは綿密な連絡体制の下、互いに利用増進に向け周知を行う。また、未連携自治体とは課題を把握・共有し連携に向けた協議を継続する。【対象館 48箇所】</p> <p>【2】オンラインでの利用申請の検討 対面及び郵送による利用申請に加えて、利便性向上のためにオンラインでの利用申請方法を検討する。</p> <p>【3】電子図書館導入についての検討 将来的な電子図書館の導入の是非について、市町村教育委員会等からの意見を伺いながら検討を行う。</p>	【目標】	<p>年度</p> <p>(1) インターネット予約貸出サービスは、5月に山鹿市2館が加わり、令和5年度末時点で22自治体、61館と連携しました。 【インターネット予約貸出サービスの実績】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>予約冊数</td> <td>貸出冊数</td> <td>返却冊数</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>8,670冊</td> <td>4,853冊</td> <td>11,726冊</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td>6,278冊</td> <td>3,655冊</td> <td>9,342冊</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>+38.1%</td> <td>+32.7%</td> <td>+25.5%</td> </tr> </table> <p>(2) 5月に熊本県電子申請サービスを活用した貸出カードのオンライン申請をはじめ、徐々に利用が伸びています。 【オンライン申請の実績】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R5.5~R6.3</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>オンライン申請</td> <td></td> <td>156件</td> </tr> <tr> <td>うち貸出カード(現物)発行</td> <td></td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td>【参考】来館申請</td> <td></td> <td>2,906件</td> </tr> </table> <p>(3) 令和6年3月1日に熊本県電子図書館「くまもとe-books」導入し、のべ8,937コンテンツを掲載しました。 【参考】3月の総閲覧数 1,482件</p>		予約冊数	貸出冊数	返却冊数	R5年度	8,670冊	4,853冊	11,726冊	前年度	6,278冊	3,655冊	9,342冊	前年度比	+38.1%	+32.7%	+25.5%		R5.5~R6.3	件数	オンライン申請		156件	うち貸出カード(現物)発行		42件	【参考】来館申請		2,906件	<p>次年度への志向等</p> <p>(1) 今後も、公共図書館を有する未連携の自治体(水俣市、阿蘇市、上天草市)と協議を継続していきます。 また、県民に向けて、イベントや研修など、様々な機会にサービスを周知し、利用を促していきます。</p> <p>(2) インターネット予約貸出サービスの連携館にて、チラシ配布やポスター掲示を行い周知します。</p> <p>(3) 一般県民に向けた広報活動や、児童・生徒に市町村が貸与しているタブレット等による電子図書館利用方法などの説明を行い、利用を促していきます。</p>
	予約冊数	貸出冊数	返却冊数																													
R5年度	8,670冊	4,853冊	11,726冊																													
前年度	6,278冊	3,655冊	9,342冊																													
前年度比	+38.1%	+32.7%	+25.5%																													
	R5.5~R6.3	件数																														
オンライン申請		156件																														
うち貸出カード(現物)発行		42件																														
【参考】来館申請		2,906件																														
② 市町村立図書館等への支援	<p>【1】市町村立図書館等への研修の充実 市町村立図書館職員の研修機会を増やすため、研修の要望についてアンケートを実施し、オンラインや県立図書館における館内研修での受け入れなどにより実施するとともに、参加が困難な職員に向け、市町村支援ページに資料等の掲載を行う。【年2回】</p> <p>【2】相互貸借のオンライン化による負担軽減の検討 市町村立図書館の負担を軽減し、利便性向上を図るため、相互貸借(県→市町村)について蔵書検索からオンラインで申請できる方法を検討する。</p>	【目標】	<p>年度</p> <p>(1) 熊本県内図書館職員「初任者」研修会等16回開催し、のべ668人が参加しました。司書の自主研修に役立てられるよう、研修資料を市町村支援ページに掲載しました。加えて、9月に図書館等支援アンケートを実施し、当館の研修等に対する意見を徴しました。 【研修の実績】対面開催 11回 287人参加 オンライン開催 5回 381人参加</p> <p>(2) 令和6年3月から当館ホームページから申込みができるようシステムを更新しました。 なお、利用状況は、令和3年1月に開始したインターネット予約貸出サービスの利用が年々増加していることに相反して、相互貸借は低調となる傾向があります。</p>	<p>次年度への志向等</p> <p>(1) 参加しやすい環境づくりとしてのオンライン開催や、館内整理日研修で館内職員に留めるには勿体ない内容は館外にも開くなど、様々な形で研修機会を増やす取り組みを継続していきます。</p> <p>(2) 今後は、市町村立図書館等に対し、システムの操作研修や、相互貸借や団体貸出の周知を継続しますが、県民にとって利便性の高いインターネット予約貸出サービスを特に推進していきます。</p>																												
③ 資料や各種サービス等の周知と利用の拡大	<p>【1】図書館サービスについての周知と利用拡大 SNSを利用した積極的な情報発信について継続して取り組むとともに、利用者がアクセスしやすい時間帯に発信するなど、周知の効果が高まる手法を検討し実施する。</p> <p>【2】読書バリアフリーサービスの充実 熊本県読書バリアフリー推進計画に基づき、読書に困難を感じている方々に向けたサービスの充実と読書バリアフリーについての周知を行う。</p>	【目標】	<p>通年</p> <p>(1) 当館の各種サービス、展示やおはなし会などのイベントの情報をチラシやホームページでのお知らせに加え、X(旧Twitter)やFacebookでの積極的な情報発信に取り組まれました。また、昼前など利用者がよく使う時間帯にむけて投稿時間を調整することで、認知度を上げる取り組みを行っています。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>ツイート数</td> <td>ツイートの閲覧数</td> <td>いいね等の件数</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>541ツイート</td> <td>311,706回</td> <td>7,524件</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td>505ツイート</td> <td>224,719回</td> <td>8,851件</td> </tr> <tr> <td>前年比</td> <td>+7.1%</td> <td>+38.7%</td> <td>-14.9%</td> </tr> </table> <p>(2) 図書館職員向け研修会のほか、図書館の施設見学や障がい福祉関係のイベントにおいて、サービス内容の説明やチラシ配布を行い、周知活動に努めました。また、デイジー図書46件を受入れ、蔵書検索で表示されるよう取り組みました。</p>		ツイート数	ツイートの閲覧数	いいね等の件数	R5年度	541ツイート	311,706回	7,524件	前年度	505ツイート	224,719回	8,851件	前年比	+7.1%	+38.7%	-14.9%	<p>次年度への志向等</p> <p>(1) SNSでの積極的な情報発信に引き続き取り組みます。 また、投稿時間の調整や、人目を惹く記事の作成により、更に周知効果を高めるよう取り組みます。</p> <p>(2) 本県の他部署と同様に、本人に直接周知することには限界があるため、家族や友人等を介した本人への周知に取り組みます。</p>												
	ツイート数	ツイートの閲覧数	いいね等の件数																													
R5年度	541ツイート	311,706回	7,524件																													
前年度	505ツイート	224,719回	8,851件																													
前年比	+7.1%	+38.7%	-14.9%																													

◇中期行動計画(第1次)における成果指標の目標達成状況◇

成果指標	計画時の現状	2023年度の目標値	2023年度末の実績	達成率	評価
総合的な満足度	73%	80%	71.4%	89.3%	A
相互貸借の貸出冊数	1,379冊	1,500冊	1,169冊	77.9%	B
相互貸借の市町村カバー率	44.4%	60%	46.6%	77.6%	B
団体貸出の利用件数・貸出冊数	115件 27,633冊	130件 30,000冊	67件 16,334冊	51.5% 54.4%	C
研修会の実施回数・参加者数	8回 450人	16回 800人	16回 668人	100.0% 83.5%	S A

☆評価について☆

評価	評価基準
S	達成率100%以上
A	達成率80%~99%
B	達成率60%~79%
C	達成率60%未満

◆令和5年(2023年)度 短期行動計画◆

運営方針② 熊本の学びを支える	取組の方向性	1 熊本で学ぶ人に役立つサービスの充実	(1) 「調べる図書館」としての機能の強化 (2) 学びの場や学びを共有する機会の提供
		2 熊本を学ぶ人に役立つサービスの充実	(1) 熊本に関する資料や情報の充実 (2) 熊本に関する資料や情報の提供と発信

令和5年(2023年)度の取組

重点取組事項	年度当初の計画		年度末の総括															
	具体的事業と実践内容	【目標】 実施時期(予定)	取組の実施状況及び成果と課題	次年度への志向等														
① 調べる活動の支援	<p>【1】データベースの利用促進のための周知 データベースの利用方法及び内容について、資料を見直し配布するとともに SNS 等での発信を行う。併せて館内表示を刷新しデータベースの利用促進につなげる。 【継続】</p> <p>【2】県立図書館の資料を紹介する取り組み アンケートの結果を踏まえ、ビジネス関連の蔵書を強化するため、中小企業診断士と連携・協力し、ビジネス関連資料の収集を行い SNS など周知する。 【実施】</p>	<p>通年</p> <p>通年</p>	<p>(1) データベースの利用方法等について、館内掲示を見直し、周知しました。チラシ及び SNS は、より効果的に周知できるよう内容を検討しています。</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>データベース利用</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>1,160件</td></tr> <tr><td>前年度</td><td>1,482件</td></tr> <tr><td>前年比</td><td>-21.7%</td></tr> </table> <p>(2) 起業や就職に限らず、AIを活用した仕事術や、法改正に合わせた最新情報等、様々なビジネス関連の資料収集に取り組んでいます。 また、SNSにて起業・経営相談会等のビジネスに関連した内容を紹介しています。</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>R5年度</td></tr> <tr><td>ビジネス関連資料の収集</td><td>141点</td></tr> <tr><td>ビジネス関連SNS配信</td><td>48回</td></tr> </table> <p>※このほか、工事に伴う部分休館等の影響もあり、当館ホームページへのアクセスが増加しました。</p>		データベース利用	R5年度	1,160件	前年度	1,482件	前年比	-21.7%		R5年度	ビジネス関連資料の収集	141点	ビジネス関連SNS配信	48回	<p>(1) より一層「データベースを使ってみよう」と思われる内容にチラシや館内掲示物を刷新し、利用促進に取り組みます。また、SNSでの配信を行い、身近な調べものツールとして利用を促進します。</p> <p>(2) ビジネス関連の資料収集や SNS での資料紹介に取り組めます。また、読書週間では、SNSで紹介した資料の展示を行い、利用を促進します。</p>
	データベース利用																	
R5年度	1,160件																	
前年度	1,482件																	
前年比	-21.7%																	
	R5年度																	
ビジネス関連資料の収集	141点																	
ビジネス関連SNS配信	48回																	
② レファレンスの充実	<p>【1】レファレンススキル向上のための研修実施 レファレンス利用者の満足度を上げるため、継続したレファレンス事例の共有を行うとともに、レファレンスツールの活用方法について研修を実施する。 【年3回】</p> <p>【2】レファレンスの利用促進を意識した取組 レファレンス促進のため、関連する館内掲示物の見直しを行い、来館者がレファレンスを依頼しやすい環境を作る。また、来館しなくとも、気軽にレファレンスを依頼できることを PR するため、レファレンスの事例紹介を SNS で発信する。 【実施】</p>	<p>5月・10月・2月</p> <p>年度 通年</p>	<p>(1) 図書館流通センターの TRC MARC セミナーにて書誌情報の検索ツールの活用方法を、また、国立国会図書館研修所派遣型研修を前年度に引き続き1回実施し、レファレンスツールの活用方法を学びました。 このほか、館内では公文類纂を使った調べ方を学ぶなど、利用者に満足いただけるよう日々職員のスキルアップに努めています。</p> <p>(2) レファレンスに関するチラシを見直し、QRコードをスマートフォンで読み取りメールすることで、職員と対面しなくても気軽にレファレンスを利用できるようにするなど、より良い環境づくりに努めました。 また、当館の利用案内を含めレファレンス利用を促す SNS 配信を行いました。</p>	<p>(1) 引き続きレファレンス技能向上を図るため、国立国会図書館等が開催する研修会に参加するほか、館内での貴重資料等を用いた研修を開催します。</p> <p>(2) レファレンスが、もっと気軽に利用できるサービスとアピールするため、新たにチラシを作成し配布します。 また、SNSにて事例を交えた情報を発信し、レファレンスの利用を促進します。</p>														
③ インターネット等を活用した情報の提供	<p>【1】市町村図書館専用ページの充実 市町村図書館専用ページを情報の提供手段として有効に活用し、「国立国会図書館等が開催する研修会」、「研修成果等の報告」、「県立図書館の取組」及び「日本図書館協会等からの情報」などの発信により充実させる。 【実施】</p> <p>【2】レファレンス事例の提供 特別な内容及び技術的な見地から全国に周知すべきものを精査し、レファレンス共同DBに提供する。 【100件以上】</p>	<p>通年</p> <p>年度</p>	<p>(1) 市町村立図書館等の職員が研修情報を得やすいよう、国立国会図書館等が主催する研修の情報を掲載しました。 また、市町村立図書館等向けの研修について、参加できなかった図書館職員をサポートするため、研修資料や報告等を市町村図書館専用ページに掲載しました。</p> <p>(2) 国立国会図書館が全国の公共図書館等と共同で構築している「レファレンス共同データベース」に事例を掲載しました。 【レファレンス共同データベースへの事例登録】92件</p>	<p>(1) 市町村立図書館専用ページに当館主催等の研修情報や研修資料等を掲載し、市町村図書館専用ページの利用を促します。</p> <p>(2) 職員全体のレファレンス技能を向上することで、レファレンス協同データベースに掲載する高度な調査事例の収集につなげていきます。</p>														
④ 熊本に関する資料や情報の充実	<p>【1】郷土資料・新聞記事等の紹介 SNS を活用し、「郷土資料のコレクション」や「郷土に関する内容の新聞の切り抜き」、「雑誌の特集記事」、「当館資料の博物館等での展示・テレビ等での紹介」に関する情報を発信する。 【4テーマ実施/年間】</p>	<p>通年</p>	<p>(1) SNSにて「雑誌の特集記事紹介」「当館資料の博物館での展示・テレビ等での紹介」「特集展示の紹介」をテーマに配信しました。</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>SNS配信回数</td><td>テーマ</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>48回</td><td>雑誌の特集記事紹介等</td></tr> <tr><td>前年度</td><td>30回</td><td>郷土資料ミニ展示等</td></tr> </table>		SNS配信回数	テーマ	R5年度	48回	雑誌の特集記事紹介等	前年度	30回	郷土資料ミニ展示等	<p>(1) 今後は、これまでの取り組みに加えて、熊日電子版や行政資料を紹介することで、熊本に関する情報や資料が充実していることを広く周知することに取り組めます。</p>					
	SNS配信回数	テーマ																
R5年度	48回	雑誌の特集記事紹介等																
前年度	30回	郷土資料ミニ展示等																

◇中期行動計画(第1次)における成果指標の目標達成状況◇

成果指標	計画時の現状	2023年度の目標値	2023年度末の実績	達成率	評価
レファレンスの件数	6,992件	18,000件	14,076件	78.2%	B
レファレンスの満足度	65%	80%	74.6%	93.3%	A
ホームページのアクセス数	156,950件	250,000件	471,323件	188.5%	S
当館利用団体等による発表会の実施回数	0回	10回	7回	70.0%	B

☆評価について☆

評価	評価基準
S	達成率100%以上
A	達成率80%~99%
B	達成率60%~79%
C	達成率60%未満

◆令和5年(2023年)度 短期行動計画◆

運営方針③ 熊本の文化を発信する	取組の方向性	1 熊本の文化を守る取組の充実	(1) 館内資料の保存 (2) 館外資料の保存
		2 熊本の文化を発信する取組の充実	(1) くまもと文学・歴史館との連携による情報発信 (2) 多様な方法を駆使した情報の発信

令和5年(2023年)度の取組

重点取組事項	年度当初の計画		年度末の総括							
	具体的事業と実践内容	【目標】	取組の実施状況及び成果と課題	次年度への志向等						
①貴重資料等の修理・修復の推進	【1】 県立図書館職員による資料保存管理の徹底 害虫トラップ調査の実施や、館内の清掃管理の徹底により、資料保存のための環境づくりに取り組む。また、市町村に向け、活動の普及に取り組む。 【実施】	【実施】	(1) 当館の貴重資料等を長期間利用できるよう、定期的に害虫トラップ調査を行い、効果的な害虫駆除につなげ、害虫やカビの餌となる埃の駆除に取り組みました。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>R5年度 主な実施項目</th> <th>時期</th> </tr> <tr> <td>害虫トラップ調査</td> <td>4/17~5/8、7/27~8/17、10/19~11/9</td> </tr> <tr> <td>閲覧室・書庫、事務室等の害虫駆除</td> <td>5/16、8/22、11/14</td> </tr> </table> (2) 貴重資料のうち軸などの取扱いについて、館内整理日に研修を行い、職員の技能向上を図りました。 (3) 図書館資料保存のための維持管理行為に係る研修指導業務では、定期的に研修を実施しました。 【研修の実績】7回 9名参加 (4) 累計85点の修復を行い、目標を大幅に達成しました。	R5年度 主な実施項目	時期	害虫トラップ調査	4/17~5/8、7/27~8/17、10/19~11/9	閲覧室・書庫、事務室等の害虫駆除	5/16、8/22、11/14	(1) 様々な資料を長期間保存し、提供できるよう、引き続き定期的な害虫トラップ調査及び清掃管理に取り組みます。 (2) 引き続き、古文書などの貴重資料の取扱いについて、館内研修を行い、職員の技能向上に取り組みます。 (3) 資料保存のための維持管理行為は、司書の知識に加え、より専門的な知識と技術が必要なため、専門的な技能を有する職員の育成に引き続き取り組みます。 (4) 貴重資料等の修復作業に引き続き取り組みます。
	R5年度 主な実施項目	時期								
	害虫トラップ調査	4/17~5/8、7/27~8/17、10/19~11/9								
	閲覧室・書庫、事務室等の害虫駆除	5/16、8/22、11/14								
【2】 資料保存に留意した取り扱い方法、利用者への資料の提供の判断基準を学ぶ 経年劣化した古文書や昭和初期の貴重な資料の取り扱いについて館内研修で知識と技術を習得する。 【館内研修の実施】	【館内研修7回】									
【3】 「図書館資料保存のための維持管理行為に係る研修指導業務」の実施	【館内研修7回】									
【4】 県立図書館職員による貴重資料等のクリーニング・補修の実施 県立図書館職員で対応できる修理・修復に関しては積極的に進めていく。また、市町村専用ページを活用し、市町村に情報提供を行う。 【古文書30点】	【古文書30点】									
②貴重資料等のデジタル化と提供	【1】 貴重資料等のデジタル化 システム更新時のデジタルアーカイブの改修にむけて、デジタル化作業を進める。	点数 カット数 【120点(6000枚以上)】	(1) 当初の予定通りデジタル化作業を実行できました。 【デジタル化資料】111点、6,424枚 ※編集作業中のものを含む。 (2) 次期図書館システムのデジタルアーカイブについて、先進事例を踏まえ、データ検索や表示方法等の仕様を見直し、令和6年3月にリニューアルしました。 (3) デジタルアーカイブのリニューアルに向け、当初の予定通り複製の作製を行いました。 【複製実績】86点(内訳：古文書複製76点、雑誌複製10冊) (4) デジタルアーカイブのリニューアルに向け、当初の予定通り最新技術や先進事例を収集しました。【実績】6回 8名参加	(1) 令和6年3月1日にデジタルアーカイブをリニューアルし、検索や閲覧などの操作性が向上しました。また、更なる利便性の向上を目指し、デジタル化作業に引き続き取り組みます。 (2) 利用促進の向け、SNS等による周知活動に取り組みます。 (3) 所蔵資料の状態を一つ一つ確認しながら作業しているため、一度に大量の複製を製作することは難しいものの、粛々と進めていきます。 (4) 今後もデジタルアーカイブが充実したものになるよう、先進事例を研修等で積極的に収集し、職員の技能向上に取り組みます。						
	【2】 HPのデジタルアーカイブのリニューアル システム更新時にデジタルアーカイブを刷新し、先進事例を参考に、親しみやすくわかりやすいシステムにする。また、デジタル画像の整理を進め、より多くの資料の情報発信ができるようにする。 【実施】	【実施】								
	【3】 貴重資料等の複本の作製 貴重資料や古文書などの複製を継続して行う。 【40点】	【40点】								
	【4】 資料のデジタル化等に関する研修等への参加 当館のデジタルアーカイブを充実させるために、各課(班)のデジタル化やホームページ担当者、積極的に研修やセミナーに参加し、最新技術や先進事例についての知識を習得する。 【研修会参加2回/年】	【研修会参加2回/年】								
③くまもと文学・歴史館との連携	【1】 特別展「文字が語る古代のくまもと」開催 熊本にゆかりのある国宝の木簡をはじめ貴重な歴史資料の展示を行い、熊本の歴史・文化の魅力を発信する。 【実施】	【実施】	(1) 特別展「文字が語る古代のくまもと」を盛り上げるイベントの一環として、くまもと文学・歴史館佐藤館長による連続講演会を実施しています。 【特別展開催期間】R6/3/15~5/6 【佐藤館長連続講演会】R5/4/22、9/9、11/25、12/23 (2) 予定通り展示会を実施しました。特に企画展「マンガ県くまもと展」では県立高森高校マンガ学科の作品を図書館ギャラリーに展示するなど新たな試みを行いました。また、展示にあわせ当館の各閲覧室で関連資料を展示しています。 (3) 企画展の紹介をはじめ、佐藤館長連続講演会など動画7本のYouTube配信を行いました。【再生回数】今年度投稿分7,083回、総再生回数8,406回	(1) 特別展の開催に向け、連続講演会やこども向けワークショップ等により機運醸成を図ります。また、1300年の時を経てよみがえる古代熊本のリアルを国宝や重要文化財の木簡などから読み解きます。 (2) マンガコーナー等も活用しながら魅力ある展示会の開催に取り組みます。 (3) 講演会や企画展の紹介を配信し、熊本の文化を広く伝えるよう取り組みます。						
	【2】 くまもと文学・歴史館における情報発信 文学・歴史館における展示会(常設展、企画展3回、収蔵品展2回)及びマンガコーナー、図書館ギャラリーの活用等により熊本の文化の発信を行う。 【実施】	【実施】								
	【3】 くまもと文学・歴史館YouTubeチャンネルによる動画での情報発信を行う 企画展の紹介及び連続講演会の動画配信を行う。 【実施】	【実施】								

◇中期行動計画(第1次)における成果指標の目標達成状況◇

成果指標	計画時の現状	2023年度の目標値	2023年度末の実績	達成率	評価
貴重資料等の修復点数	4点	30点	85点	283.3%	S
貴重資料等のデジタル化点数	5,897点	7,000点	6,424点	91.7%	A
郷土資料の利用提供数	10,252点	11,300点	13,110点	116.0%	S
文学・歴史館入館の当館利用への影響度	37%	50%	23.6%	47.2%	C

☆評価について☆

評価	評価基準
S	達成率100%以上
A	達成率80%~99%
B	達成率60%~79%
C	達成率60%未満

◆令和5年(2023年)度 短期行動計画◆

運営方針④ 熊本の未来を創造する	取組の方向性	1 熊本の次世代を担う子どもの育成に向けた取組の充実	(1) 子ども図書室における取組 (2) 学校や家庭、地域との連携
		2 図書館の充実と発展に寄与するための取組の充実	(1) 図書館を支える人材の育成 (2) 図書館振興に関する情報の発信

令和5年(2023年)度の取組

重点取組事項	年度当初の計画		年度末の総括		
	具体的事業と実践内容	【目標】	実施時期(予定)	取組の実施状況及び成果と課題	次年度への志向等
①子ども図書室の取組の充実	<p>【1】こども図書館の開館へ向けた取り組み 令和6年春の開館に向けて、未来を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育み、県民に未永く愛される施設となるよう、県民参加型の図書館運営の在り方を検討するとともに、開館後の運営が遺漏なく行われるよう検討を進める。【実施】</p> <p>【2】定例おはなし会と特別おはなし会の開催【実施】</p> <p>【3】子ども図書室の見学・団体利用・インターンシップ・実習への対応 公共図書館の役割を啓発し、次世代が図書館を有効に活用できるよう、保育園や幼稚園・小中高・大学生等の図書館見学・団体利用・実習を受け入れる【実施】</p> <p>【4】家庭への選書・読書支援 インターネット等を利用して、子ども図書室の展示情報や展示リストを参照できるようにし、展示テーマ別の選書情報を提供する。【情報提供 展示リスト作成(10回)】</p> <p>【5】市町村図書館への読書支援 子供の読書活動推進のために、指導者を養成する講座を開催【実施】</p>	【目標】	<p>年度</p> <p>通年 随時</p> <p>通年</p> <p>年度</p>	<p>(1) 県民参加型の図書館運営の一環として、各地の図書館の協力のもと寄贈本の受領に取り組みました。また、新規購入の本の選書を進めました。また、こども本の森との連携の在り方などの検討を行いました。</p> <p>(2) 第1・3木曜日、第2・4土曜日に定例おはなし会を開催しています。また、こわ〜いお話し会などの特別おはなし会を開催しました。 【開催数】52回 【参加者数】657人</p> <p>(3) 幼児や児童・生徒・学生の図書館見学や図書館実習などを受入れ、図書館の役割や県立図書館の事業を啓発しました。 【受入状況】14回 のべ103人</p> <p>(4) ご家庭で読む絵本や児童書を選ぶ手助けとなるよう、テーマにあわせて展示した資料のリストを当館ホームページ等で公開しました。 【展示リスト】新規公開7件 【展示テーマの一例】みあげてみよう よぞらとおつきさま</p> <p>(5) 図書館員や読書ボランティアなどを対象とした肥後っ子いきいき読書環境づくり講座を8月9日に開催する予定でしたが、台風により令和6年2月5日に延期して実施しました。</p>	<p>(1) こども本の森と県立図書館相互に人の流れを作れる連携を目指します。</p> <p>(2) 引き続き定例おはなし会を開催するほか、読書週間などに合わせた特別おはなし会に取組みます。また、新たな取組を模索します。</p> <p>(3) 図書館・司書の役割や、当館の事業を啓発する活動の一つとして、図書館見学や実習等を受け入れていきます。</p> <p>(4) 引き続き絵本や児童書を選ぶ手助けとなるようテーマに合わせて展示する資料のリストを公開していきます。</p> <p>(5) 改めて講座の開催に向け、準備を整えていきます。</p>
②学校図書館への支援の充実	<p>【1】学校図書館司書に研修会の実施 学校図書館の運営に必要と思われる「児童生徒の利用促進について」や「読書バリアフリーについて」「レファレンス対応について」などの資質向上を目的とした研修会を実施する。【実施】</p> <p>【2】相互貸借の手続き簡略化 学校図書館の負担を軽減し、利便性向上を図るため、相互貸借(県→学校)について蔵書検索からオンラインで申請できる方法を検討する。</p>	【目標】	<p>6月下旬</p> <p>年度</p>	<p>(1) 学校司書実践研修では、読書バリアフリーやレファレンスなどの研修を開催しました。当館の各種サービスを紹介したほか、児童生徒の利用促進や学校図書館司書同士の情報交換も行いました。 【開催実績】R5.6.29 【参加者数】13人</p> <p>(2) 現在、当館ホームページ等で資料を検索し、FAXで申込まれている相互貸借について、当館ホームページで検索し、そのまま申し込みができるよう改めました。</p>	<p>(1) 今後は、今年度のアンケート結果等を踏まえ、次年度の研修項目等を改めて検討します。令和6年春の募集要項公開時には、研修の実施体制や研修の具体的内容を素案としてまとめ、次年度の研修実施に遺漏のないよう進めていきます。</p> <p>(2) 今後は、各学校等への周知や操作研修に取り組みます。</p>
③図書館職員等の研修の充実	<p>【1】県立図書館が主催または共催する研修会の実施【7回】 ※館内研修の市町村立等職員の参加も含む ・主催・共催研修会の動画配信(オンライン)による研修会の実施(再掲)【2回】</p> <p>【2】肥後っ子いきいき読書環境づくり事業に基づく指導者養成講座の開催(再掲)【1回】</p> <p>【3】市町村立図書館等への巡回訪問研修の充実(再掲)【1回】 ※巡回訪問研修については参加しやすい在り方としてオンラインで全県域を対象として開催予定</p> <p>【4】外部研修への職員の参加と情報発信【5回】</p>	【目標】	<p>通年</p> <p>随時</p>	<p>(1) 県立図書館での集合研修やオンライン研修を16回開催し、のべ668人が参加しました。 【研修の一例】 熊本県内図書館職員「初任者」研修会 参加者37名</p> <p>(2) 上記①(5)を参照のこと。</p> <p>(3) 今年度は、市町村向け研修の開催頻度が高いため、地区別研修会を図書館振興協議会との共催としました。</p> <p>(4) 国立国会図書館等が主催するレファレンスサービス研修ほか6件に参加し、職員の技能向上を図りました。 【研修の一例】 国立国会図書館レファレンスサービス研修「科学技術情報の調べ方」参加者3名</p>	<p>(1) 館内整理日研修の公開などに取り組みます。また、オンライン配信による研修の開催も併せて検討します。</p> <p>(2) 令和6年度の開催に向け準備を整えていきます。</p> <p>(3) 電子図書館など当館のサービスの利用促進や、県内の図書館職員の技能向上に関する研修を適宜オンライン等で実施します。</p> <p>(4) 日本図書館協会「図書館誌」等により研修情報を収集し、職員に研修参加を促します。また、市町村立図書館等の研修機会を確保する為、当館ホームページで研修情報等を発信していきます。</p>

◇中期行動計画(第1次)における成果指標の目標達成状況◇

成果指標	計画時の現状	2023年度の目標値	2023年度末の実績	達成率	評価
子ども図書室の貸出冊数	79,264冊	90,000冊	99,373冊	110.4%	S
おはなし会の参加者数	1,415人	1,500人	657人	43.8%	C
子ども文庫の利用件数・貸出冊数【再掲】	26件 7,813冊	35件 10,000冊	12件 3,213冊	34.2% 32.1%	C C
研修会の実施回数・参加者数【再掲】	8回 450人	16回 800人	16回 668人	100.0% 83.5%	S A

☆評価について☆

評価	評価基準
S	達成率100%以上
A	達成率80%~99%
B	達成率60%~79%
C	達成率60%未満